

## 令和4年度第1回横須賀市自殺対策推進協議会会議録

- ・ 日 時： 令和4年7月26日（火）書面会議
  
- ・ 出席者： 荒木稔、生田悟、井上泉、大滝紀宏、奥原孝幸、恩田一弘、樫福宏征  
河野伸子、菊池理沙、金原健一郎、工藤幸久、後藤健一、鈴木昌子、玉井秀直  
土田賢一、中島直行、藤尾聡允、逸見浩輔、星野洋司、堀越君枝、渡邊春彦  
渡辺大雄、渡辺浩義（敬称略、五十音順）
  
- ・ 事務局： 夏目久也           ：健康部長  
          小菅俊彦           ：保健予防課長  
          大内泰之           ：保健予防課主査  
          増田浩子           ：保健予防課主査  
          菅祐太郎、田杭真澄

### 1 議事

#### （1）横須賀市自殺対策計画（第2期）作成スケジュール等について

- 「資料1-1 横須賀市自殺対策計画（第2期）スケジュール（案）」、「資料1-2 ころの健康に関する市民意識調査 調査票（案）（解説メモ）」を配布し、意見を求めた。
- 意見等は別添回覧一覧（議題1）のとおり。

#### （2）横須賀市の自殺の現状について

- 「資料2-1 横須賀市の自殺の現状（解説メモ）」、「資料2-2 横須賀市の自殺未遂者の状況（解説メモ）」を配布し、意見を求めた。
- 意見等は別添回覧一覧（議題2）のとおり。

#### （3）横須賀市自殺対策計画の進行管理について

- 「資料3 横須賀市自殺対策計画進行管理（解説メモ）」を配布し、意見を求めた。
- 意見等は別添回覧一覧（議題3）のとおり。

#### （4）報告事項等

- 「資料4 報告事項について」を配布し、意見を求めた。
- 意見等は別添回覧一覧（議題4）のとおり。

(5) その他

- 書面会議についての意見・感想、次回以降の議題についての意見を求めた。
- 意見等は別添回答一覧（その他）のとおり。

以上

## 令和4年度 第1回横須賀市自殺対策推進協議会 回答一覧

議題1 横須賀市自殺対策計画(第2期)作成スケジュール等について		
※1について		
神奈川県司法書士会 横須賀支部	逸見構成員	実際にアンケートを回答してみましたが、特に長くは感じず、削除すべきと断言出来るものはありませんでした。しかし項目において内容が似ているようなものは削除しても良いのではないかと感じました。(例えば項目14 aとc 項目23 gとhなど)
神奈川県立保健福祉 大学	奥原構成員	すべて必要と思います。少し多い気もしなくはありませんが、現状を把握するには必要だと考えます。
全国自死遺族支援 センター	藤尾構成員	このままでも良いと思います。強いて言えば、問3・4くらいです。とはいえ、市の政策上必要かもしれませんが、市民という立場で考えればいらぬように感じました。
横須賀市居宅介護支援 事業連絡協議会	玉井構成員	具体的にどの項目が不要ということはないのですが、かなりボリュームがあって時間をとられることと内容がセンシティブで、記載者の負担があると感じました。
横須賀市保健所	土田構成員	問4について、在り年数で差が出るとの仮説はあるのですか?
※2について		
神奈川県看護協会 横須賀支部	河野構成員	4 解説メモのコメントを拝見しました。できるだけすべての意見を反映するものとして、以下の案を考えましたので、ご提案いたします。 (案)問7 ご家庭の家計の収入と支出の状況について教えてください。(〇は1つ) 1. かなり不足している 2. 多少不足している 3. どちらともいえない 4. 多少余裕がある 5. かなり余裕がある
横須賀市産業振興財団	渡辺構成員	1 客観的な数字の方がよいと思います。ただし、何を知りたいかによりますよね。収入による傾向を知りたいのか、自分の収入に対する満足度による傾向を知りたいのかによって変わってくると思います。
横須賀公安職業安定所	恩田構成員	2 余裕のありなしは金額だけではないので、案2がよいと思います。
田浦警察署	渡邊構成員	2 年収の調査をしても、豊かさの感覚は人それぞれその為。(1,000万円以上の年収でも、人によっては「まったく余裕が無い」と回答する可能性もある為)
浦賀警察署	金原構成員	2 自殺対策として経済的に困窮であるかを聴取することは必要であるが、家族の人数、別居している介護者等、個人差はある為、被調査者の負担感を調査する方がよい。
横須賀労働基準監督署	生田構成員	4 案1は回答者の基礎的な情報、案2は意識(主観的)な情報であるので、全く違う意図の設問である。横須賀市が知りたいものを記載すればよい。
横須賀市中学校長会	星野構成員	2 具体的な年収(金額)に関しては回答しにくさがあり、案2が良いと感じます。
横須賀市薬剤師会	荒木構成員	1 具体的な方が他と比較しやすい。
市民公募	鈴木構成員	4 家計の余裕は世帯の構成人数や年齢によっても大きく違いがあると思われる。だから(案1)のように具体的な数字を示してもどうかな…と考える。 どちらかを選ぶとすれば(案2)が良いと思うが、この設問が必要かとなると迷うところである。

神奈川県司法書士会 横須賀支部	逸見構成員	1	案2にすると大半の人が2の「あまり余裕がない」と答えてしまい、アンケートで得たい回答に導けなくなるのではないかと感じたためです。本来であれば年収が多くとも支出も多ければ経済的に余裕はないこととなりますが、そこまでアンケート調査にて把握するのには無理があり、客観的な年収で区切って調査せざるを得ないと思います。
民生委員	堀越構成員	2	世帯年収より、家計の余裕の設問のほうがよいと思います。 自殺の原因 経済生活問題か健康問題についてかが多いので、案2がよいと思います。
横須賀警察署	渡辺構成員	2	額面では判断材料とはなりにくいので、体感的なもののほうが実態を把握しやすいのではないかと思います。
市民公募	菊池構成員	2	「家計に余裕があるかという聞き方は失礼にあたる」という意見もわからなくないが、均一した基準で問うだけでは、生活までは見えてこないように感じた。しかし案2では、順序尺度での問い方となるため、得られた結果には回答者の主観が含まれることで、参考程度になってしまうかもしれないが、金銭と自殺の関与を問うには、具体的な数字でなくても良いと思った。
横須賀市医師会	後藤構成員	4	両設問ともデータとしては重要なので両設問とも採用し、しかしそれぞれに6 回答なしを選択可能とする。
神奈川県弁護士会 横須賀支部	樫福構成員	1	主観を入れるよりも、客観的な数字でアンケートをした方がデータとしては良いと思います。ただ世帯年収も、世帯人数、(同居者の)世代によって、同じ年収でも客観的に余裕がある状態か否か変動するので、これらも組み合わせた方がより良いと思う。
神奈川県立保健福祉 大学	奥原構成員	2	回答者の実感を問うため金額は不要と考えます。
横須賀こころの電話	中島構成員	1	世帯年収は客観的な数値を基準とすべき。
横須賀商工会議所	工藤構成員	1	均一で回答できた方がよいため。
横須賀市医師会	大滝構成員	2	収入そのものよりも、回答者が生活していくうえで自分の経済状況をどう感じているかが重要であると考えます。
全国自死遺族支援 センター	藤尾構成員	1	一番答えやすいし、実情を把握することは市の政策に生かしていけると考えます。
横須賀市居宅介護支援 事業所連絡協議会	玉井構成員	1	具体的な数字を示したほうが理解しやすいため。
<b>※3について</b>			
浦賀警察署	金原構成員		問37以降は、自殺について主観的に考えるもの。これ以前は客観的に答えられるが、同一のアンケートで聴取することで、何かしらの影響を及ぼすのではないかと懸念する。
神奈川県看護協会 横須賀支部	河野構成員		①問37で終了する回答者と、問38に進む回答者の2パターンに分かれるようですが、 ・問37で終了する回答者にとっては、自由記載欄との間に「注意」として問38に進む回答者への説明が挿入された形になるので、回答時に混乱する恐れがあります。問37の回答者も問38以降に進む回答者も、全員が同じく11ページの自由記載欄に誘導されるとよいのではないかと考えます。 ②11ページ(最後の項)は、上部に自由記載欄を設け、その下に相談窓口の情報が書かれています。現行ですと、回答者がこの調査票を提出した後は、相談窓口の情報が手元に残らないこととなります。切り取ってもらう、あるいは相談窓口の情報は、調査票と別紙にするなどの工夫があると良いと思います。
市民公募	鈴木構成員		調査票の設問文が一行ごとに白地、黒地と見やすくされているが、高齢者や弱視の人の中には黒字の部分が見えづらい場合もあるので、濃さに工夫をお願いしたい。

神奈川県司法書士会 横須賀支部	逸見構成員	問17について4, 5に○を付けた後に問18を回答後、問19で「誰に相談をしますか?」という問いが続いているところに不自然な流れを感じました。問17で1から3に○をつけてもらった人に問19, 20を答えてもらい、4, 5に○をつけた人が問18に回答してもらうような形にしてはいかがでしょうか? 問37について4, 5に○をつけた人について、次のページにある問38~41に答えて欲しいとの注意書きがあっても良いと感じました。
市民公募	菊池構成員	資料1-2 3ページ目 問14-e「骨折り」という表現は、20歳未満には伝わりにくいかと思いました。(問2 年齢の区分で20歳未満があり、無作為抽出であることを踏まえて)
神奈川県立保健福祉 大学	奥原構成員	・問37の後の注意との間に1行スペースがあるとよいと思いました。 ・問13の3 つきあいはしている、という肯定的な表現はいかがでしょう。 ・問14 神経が過敏になっていると感じましたか、という肯定的な表現はいかがでしょう。あと、その他を追加して、どのような気持ちや考えになることが多かったですか、はいかがでしょう。 ・問18 相談したいと思わない理由、でしょうか。 ・問37で終わってしまい、最後の連絡先まで見ない人がいるかもしれないと思いました。
横須賀こころの電話	中島構成員	問11, 15, 16, 18, 22について ○はいくつでも→1位, 2位, 3位の順位付けを加えたらどうか。 その他の「○はいくつでも」の設問はそのままで良い。
横須賀商工会議所	工藤構成員	・アンケート名が「こころの健康に関する市民意識調査」となっていますが、タイトルのわりに自殺についてのことを聞く内容が多く、タイトルと内容があってないように感じました。 ・本アンケートに自殺について問う内容が入っていることを、アンケート表紙にも記載した方がよいのではないかと感じました。 ・SNSが使われる時代背景があるので、SNSに関する項目や日頃、どのような利用をしているのかを聞いても良いのかと思います。 ・性的マイノリティに関する質問項目があっても良いかと思います。 ・問22について、施策へ反映ができないことについては不要か?と、感じました。 ・相談機関の一つに「こころの耳」(厚生労働省管轄のサイト)を記載していただくとよいのではないかと思います。
横須賀市医師会	大滝構成員	ページ9の注意以下は自由意見の下においてみてはいかがでしょう。そしてページ11の自由意見欄は省いてください。
<b>議題2 横須賀市の自殺の現状について</b>		
浦賀警察署	金原構成員	市内の発生数、年代別は年ごとに増加と減少を繰り返しているが、コロナの影響からか、ここ数年は19歳以下70歳以上が多いと感じる。交通事故防止は年少者と高齢者対策が重要となるが、近いものがあるのではないか。
神奈川県看護協会 横須賀支部	河野構成員	自殺未遂歴と自殺者数の関連について、さらに考察できると良いと思います。未遂歴の把握が困難なのか、実際に未遂歴がなく既遂しているのかによって、今後の介入の視点が見えてくるように思います。
市民公募	鈴木構成員	資料2-1 P2 3-(1)年齢階級別自殺者数の年次推移の中で、令和3年70~79歳の年代で増加しているが、理由・原因については何が考えられるか?
神奈川県司法書士会 横須賀支部	逸見構成員	データに対して解説メモが付されたことで、資料のどこに注目すべきか大変分かりやすくなって、書面会議であっても参加者として理解しやすくなりました。ありがとうございます。 市内の自殺者が減ってきていることについては、セーフティーネットの活用などで様々な対策の効果が出ていると感じましたが、自死の理由としての経済的なものが少なくなる一方、家族問題や健康問題などより対応が難しいところの数は減ってきていないところについて、今後、どのように切り込んでいくかが課題に思えました。

横須賀市医師会	後藤構成員	令和3年度に横須賀市の自殺者数、自殺死亡率が再び減少に転じ、ややほっとするところです。高齢者の自殺者が多いことは気になるところで、横須賀市民の高齢化と関係するでしょう。
神奈川県弁護士会 横須賀支部	樫福構成員	警察庁の自殺統計によれば、横須賀市は令和3年の自殺者数が減少しており良かったと思います。ただ、高齢者の自殺が特に増加しており、その原因究明と対策が必要ではないかと思いました。
神奈川県立保健福祉 大学	奥原構成員	・減少していて良かったと思います。 ・社会状況が変化していくため、それに応じた対策を検討していくことが必要だと考えます。 ・未遂履歴ありの自殺者が少ない、のは、自殺未遂者対策の効果だと思います。本当に気苦労の多い細やかな対応に経緯を表します。 ・未遂で多いODですが、インターネットでOD仲間を集めたり、遊びで服薬したり、そこに薬物を供給(販売?)する者もいて、犯罪に繋がっているとのニュースを読んで、気になっています。
横須賀こころの電話	中島構成員	神奈川県は自殺率の少ない県として常に全国最上位。それに対して横須賀市は自殺率が全国平均並み、時に突出することもある。地域的な背景があると思われるが、引き続き対策の重要性を再確認している。
横須賀市医師会	大滝構成員	確定値ではないとはいえ、令和3年の自殺死亡率が神奈川全体の値に近くなったのは良かった。神奈川県はそもそも全国一自殺死亡率が低い、是非、市が県より低くなるように努力をしたい。未遂者少なく、未遂者対策が効果を出している印象。
横須賀市居宅介護支援 連絡協議会	玉井構成員	・なぜ70代が多いのですか? ・なぜ男性が多いのですか?

### 議題3 横須賀市自殺対策計画の進行管理について

浦賀警察署	金原構成員	いきなり対面での相談は勇気がいるものなので、SNS、掲示板等で相談できる機会を増やした方が良い。
横須賀共済病院	河野構成員	このような状況でも、基本施策2 自殺対策を支える人材の育成で、ゲートキーパー養成研修会を開催し、市職員の達成度142%は素晴らしいことだと思います。ゲートキーパー養成は重要な課題だと思いますので、方法を検討の上、引き続き取り組んでいただくと良いと思います。
神奈川県司法書士会 横須賀支部	逸見構成員	性的マイノリティが話せる場の提供が昨年度は12回開催され、延べ200人の参加があったことは新しい取組みとして成功のように感じました。特に市外からの参加者が189名も存在したことは、このような場が社会全体として少ないためだと思います。他の市町村にもこのような場について紹介しても良いのではないかと思います。
民生委員	堀越構成員	生活支援課が行っている事業はとても大切なサポートだと考えております。日頃の御苦勞に感謝致します。
横須賀市医師会	後藤構成員	充実した内容だと思います。令和2年度に中止となった施策が令和3年度に復活し、さらに4年度につながっていくことを期待します。オンライン開催は大いに利用すべきだと思いますが、コロナ感染縮小で対面の事業ができるようになることを心待ちにしております。
神奈川県弁護士会 横須賀支部	樫福構成員	令和3年度は令和2年度に比較して計画を実施していただいているものが多い。一つの見方にすぎないかもしれないが、資料2の自殺者数と見比べたとき、計画実施を含め、社会活動の正常化が自殺者数の減少につながった可能性もある。コロナ禍でも方法を工夫して開催していくことは大事だと考えます。
横須賀こころの電話	中島構成員	リストを見て、様々な取り組みによって支えられていることを実感。
横須賀市医師会	大滝構成員	一定の成果は出ているものの、今後、対面での活動ができない時、それを補うかが課題である。
横須賀市居宅介護支援 連絡協議会	玉井構成員	・計画に対して、自殺者が55名(R3年度)という結果はどのように評価されているのか? ・計画が直接自殺対策につながるものではない項目もあり、見にくいです。

### 議題4 報告事項等

神奈川県看護協会 横須賀支部	河野構成員	SNSの活用は素晴らしい試みだと思います。相談窓口の周知については、高齢者層にも届くよう、広報誌やタウン誌などの活用も検討できると良いと思います。
横須賀市中学校長会	星野構成員	「自殺予防」に関するアピールをもう少し工夫し、多くの市民に知ってもらうことも必要と感じます。パネル展示の場所を複数箇所確保し(日程をずらし)、回数を増やすなど。 ※期間等に関することがわからない中で、勝手に書かせてもらいました。申し訳ありません。
神奈川県司法書士会 横須賀支部	逸見構成員	自殺予防週間で行われるパネル展示とはどのようなものなのか、少し興味がありました。SNS等新しい相談形態について、今後、どのような相談実績が出てくるか気になりました。
民生委員	堀越構成員	つなぎ支援の強化と書いてありますが、手を差しのばしても拒否されたり、なかなか難しいことだと思います。身近な方、本心がなかなか引き出すことが出来ず、最悪な状態になったことがあります。 専門職を各行政センターに置いて欲しいです。
横須賀市医師会	後藤構成員	相談事業、研修事業など、団体同士のつながりができることは望ましいと思います。
神奈川県立保健福祉 大学	奥原構成員	ライフリンク、あなたのいばしょに関しては、たいへん重要なことと考えて、期待しています。
横須賀こころの電話	中島構成員	電話相談事業をしていて、電話を一切利用しない主に若い年齢層のアプローチに苦慮している立場として、SNSを活用した取り組みの広がりに期待している。
横須賀市医師会	大滝構成員	次回の協議会にて、ライフリンクとの連携について詳しく教えてください。ライフリンクとの協力は基本的には賛成です。
全国自死遺族支援 センター	藤尾構成員	ライフリンクは私共、全国自死遺族支援センターの姉妹組織ですので、この活動に参加している者もいます。
<b>その他(書面会議に対するご意見、次回以降の議題など)</b>		
神奈川県看護協会 横須賀支部	河野構成員	書面会議はやむを得ず、妥当なご判断だと思います。
市民公募	鈴木構成員	市民公募として3回目の参加となります。2回目3回目が書面会議でした。私個人としては、書面会議ではじっくり資料を読むことが可能であり、理解も深まりました。ただ、対面での意見を聴く機会はなくなり残念です。 資料の解説メモも良くできていたと思います。
横須賀警察署	渡辺構成員	自殺者が20~40代の年齢層に多いため、SNSのショート動画による防止啓発活動の拡充を図る方策など、一番目につきやすいもの(心に響くもの)を見つけ出すことを一つの課題としてはいかがかと思います。
神奈川県弁護士会 横須賀支部	樫福構成員	現在のコロナ感染症の現状では、書面会議の形式は妥当だと思います。 ただ、今後はZoom等を活用した会議の開催も行って、コロナ禍でも意見交換ができるようにしていただけると、より良いと思います。
横須賀市医師会	大滝構成員	次回の協議会にて、ライフリンクとの連携について詳しく教えてください。
横須賀市居宅介護支援 連絡協議会	玉井構成員	自殺者数、なぜ高齢者が多いのか分析してほしい。